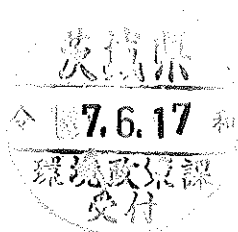


（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月16日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



提出者 日本アドバンスロール株式会社  
住 所 茨城県ひたちなか市堀口832番地2  
氏 名 代表取締役社長 長野 秀樹  
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）  
電話番号 029-271-1115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本アドバンスロール株式会社 本社工場
事業場の所在地	茨城県ひたちなか市堀口832番地
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鍛鋼製造業
②事業の規模	冷間圧延用及び熱間圧延用ワークロール、中間ロール、バックアップロール、多段式圧延機用ロール、その他鍛造ロールの設計、開発、製造販売及び保守出荷額： 6,231,520千円
③従業員数	181名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙②のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	—
	排出量	260.36t	—t
	(これまでに実施した取組) ・ばいじん（ダスト）の再利用化		
② 計画	【目標】排出量の前年度実績維持（処理委託ゼロ）		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	—
	排出量	260.36t	—t
	(今後実施する予定の取組) ・ばいじん（ダスト）の再利用化		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙③のとおり
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙③のとおり

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	258.87t	—t
	（これまでに実施した取組） ・ばいじん（ダスト）の圧縮固化による溶解材料としての再利用		
③ 計画	【目標】 ばいじん発生量の全量再生利用		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	258.87t	—t
	（今後実施する予定の取組） ・ばいじん（ダスト）の圧縮固化による溶解材料としての再利用		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】        —		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	（今後実施する予定の取組）		

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】—		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	—
	全処理委託量	1.49t	—t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.49t	—t
	再生利用業者への処理委託量	1.49t	—t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	—t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	—t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬及び処理委託業者（処理場）の現地視察</li> <li>・収集運搬車両の、最大積載量と実積載量の確認</li> <li>・全廃棄物を対象に優良認定のある処理業者への委託検討</li> <li>・最終処分で管理埋立となる廃棄物について、リサイクル処分の可能な業者への委託検討</li> <li>・県外の委託処理している廃棄物の、県内委託処理先の検討</li> <li>・委託処理先の完全ツーベンダー化の検討</li> </ul>		

②計画	【目標】排出量をゼロにする		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	—
	全処理委託量	0t	—t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	—t
	再生利用業者への 処理委託量	0t	—t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	—t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	—t
	(今後実施する予定の取組) ・収集運搬及び処理委託業者(処理場)の現地視察の継続 ・収集運搬車両の、最大積載量と実積載量の確認継続 ・全廃棄物を対象に優良認定のある処理業者への委託検討継続 ・中間及び最終処分で管理埋立となる廃棄物について、 リサイクル処分の可能な業者の検討継続 ・県外の委託処理している廃棄物の、県内委託処理先の検討継続 ・委託処理先の完全ツーベンダー化の検討継続		
※事務処理欄			

備考

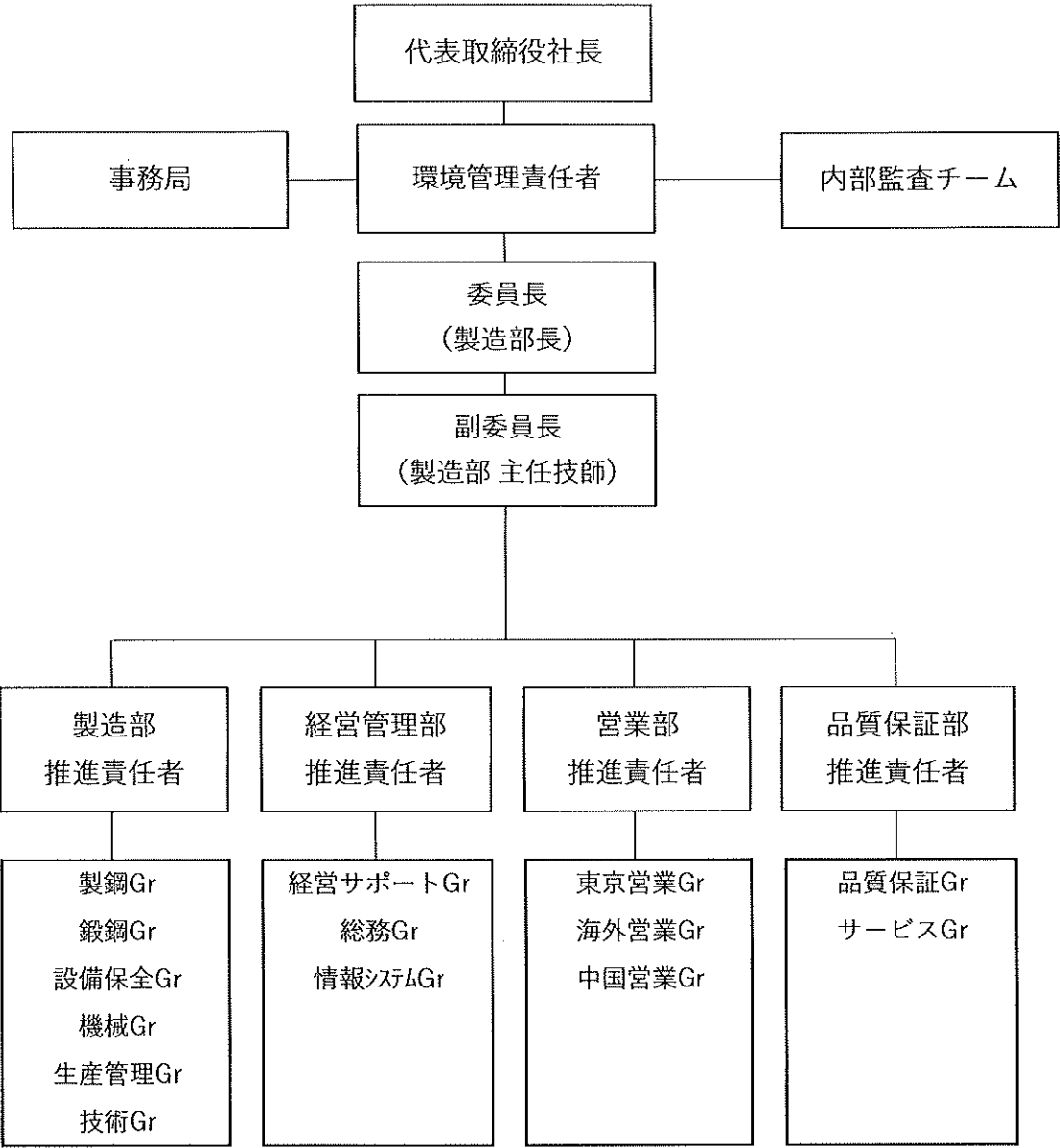
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙① 特別管理産業廃棄物の発生量、処理工程

番号	産業廃棄物の種類 (発生時の種類)	排出量及び計画			中間処理				最終処分			
		前年度 計画 (t/年)	①前年度 実績 (t/年)	②本年度 計画 (t/年)	区分	処理方法	前年度 処理計画 (t/年)	前年度 処理実績 (t/年)	処分方法	リサイクル 処分量 (t/年)	埋立 処分量 (t/年)	処理後状況
1	汚泥(廃ソルト)	0.00	1.49	1.49	委託処理	焼却	0.00	1.49	管理埋立	0.00	0.22	埋立処分
2	廃油(混合ガソリン)	0.00	0.00	0.00	委託処理	焼却	0.00	0.00	リサイクル	0.00	0.00	再製油
3	ばいじん(集塵ダスト)	0.00	258.87	258.87	委託処理	混練	0.00	0.00	リサイクル	0.00	0.00	路盤材、他
						固化	0.00	0.00	管理埋立	0.00	0.00	埋立処分
合計		0.00	260.36	260.36			0.00	1.49		0.00	0.22	

別紙② 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

日本アドバンスロール（株） 環境管理組織図





別紙③ 特別管理産業廃棄物の排出の抑制・自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

番号	産業廃棄物の種類 (発生時の種類)	排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
		①前年度実績	②本年度目標	区分 (委託/自社利用)	前年度目標	①前年度実績	②本年度目標
		排出量実績 (t/年)	排出量計画 (t/年)		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (t/年)	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (t/年)	自ら再生利用を行う産 業廃棄物の量 (t/年)
1	汚泥(廃ソルト)	1.49	1.49	委託処理	0.00	0.00	0.00
2	廃油(混合ガソリン)	0.00	0.00	委託処理	0.00	0.00	0.00
3	ばいじん(集塵ダスト)	258.87	258.87	委託/自社利用	0.00	258.87	258.87
合計		260.36	260.36		0.00	258.87	258.87

## 別紙④ 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]